

公表：令和4年4月1日

事業所名 ぴ～す

保護者等数（児童数）14 回収数14 割合100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%					近くの公園を有効活用している。また現在建設中のプチ体育館も利用しながら十分な活動に繋げていく
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%					定員10名に対し職員7名を配置している。今後も専門性や経験値を高められるよう取り組んでいく
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	86%	14%				バリアフリー化は出来ないが一人ひとりが危険性を感知できるよう支援・対応をしてきたい。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	93%	7%				毎日の清掃・消毒・除菌は継続的にやっていく。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%					ご家庭との連絡を密にしながら、今後も一人ひとりにあった支援を考えていく。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	57%	43%				コロナ禍で今年度は叶いませんでしたが、東金市のひまわり保育園と提携しているため、次年度から交流を取り入れていく予定です。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%					
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%					家庭との連携・連絡を大切にしながら一緒に考え育てていきたいという思いで関わっていきます。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%				保護者に対してのケアがとても助かっています。	その都度電話や面談等でお話をさせていただいておりますが、今後もその機会を大切にしたいと思っています。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	64%	29%	7%		保護者同士の交流の場を作っていたら嬉しいです。	コロナ禍でもあり、1年目でもあったため企画できませんでしたが、保護者同士の繋がりを求める声が多かったため、今後企画していくようにします。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%					
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%					いつでも話やすい環境づくりと助言に対する知識を身に付けるための自己研鑽に励んでいく。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	100%				毎月のび～すだよりがとても良い。ホームページが常に更新されている。	
⑭	個人情報に十分注意しているか	93%	7%					

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	79%	21%				今後コロナ感染予防マニュアルの作成を行い、職員で共有しながらご家庭にお伝えするようしていく。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	86%	14%				避難訓練は2カ月に1回集団活動として実施しています。び〜すだより等で様子をお伝えするようしていきます。
満足度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	100%				楽しくてび〜すなくては今の回数利用していなかったと思う。いろいろと考えてくださりありがとうございます。	魅力ある事業所となれるよう精進していきます。
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	100%				大満足です。たくさんの方にび〜すを利用してもらいたいです。定員いっぱいだと断られるのが心配です。人気があっうれしいです。	

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：令和 4年 4月 1日

事業所名 ぴ～す

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%				近くの公園を有効活用する。 建設中の体育館を活用する。
	②	職員の配置数は適切であるか	100%				定員10名に対し職員7名を配置している。今後も専門性や経験値を高められるよう取り組んでいく
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	84%	16%		玄関の段差は十分注意をしている	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	100%				PDCAサイクルを職員全体で意識し共有しながら円滑に活動できるようにする。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%				アンケートの実施と公表、また結果を職員全体で共有し改善に向けた取り組みを行っていく
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか					今年度から実施
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	100%			社労士による研修と評価を実施している	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			社労士による研修と評価を実施している	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			保護者のニーズに寄り添っている	モニタリング毎にケース会議を行っている。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	50%	50%			保護者との面談を定期的に行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			季節の行事を入れたりやったことのない活動を取り入れるよう意識している	プログラムのマンネリ化を防ぐよう配慮しながら計画を作成している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			月間の活動プログラムを一人ひとりの子どもを想定し相談して決めている	曜日で利用してる子への配慮を心掛けながら計画を作成している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%				どうび～すは社会体験の機会として、いろいろな体験ができるように工夫している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%				個別活動の偏りがみられるので一人ひとりとの時間を意識的に作っていきたい
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	84%	14%			開始時に時間的に不可能なときもあるが、できるだけ毎日ミーティングの時間を設けていく

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			職員間で一日の振り返りが徹底されている	
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			タブレットで記録し、他の職員が振り返りができる	
	⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%				関係機関との連携し、モニタリングに同席させてもらうなど一貫した計画となるよう努めていく
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	100%				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%				自発管・管理者が参加している。
	⑮	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%				毎月または年間の計画を学校からいただき、行事や下校時間等の連絡調整を行っている。
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか					
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	50%	50%		必要に応じて情報共有をしている	
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	50%	50%			これから必要な機会ができてくると思われるので、体制を考えていきたい
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%				コロナ渦の影響もあり研修等実施されていないが、今後積極的に参加していきたい
	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	33%	67%		児童館等へは行くが交流はなし	コロナ渦で困難な状況もあるが、提携している東金市ひまわり保育園との交流を取り入れてきたい
	㉑	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	100%				自発管・管理者が参加している。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%				できるだけ送迎時保護者にその日の様子を伝えるようにしている。必要に応じて面談等を行いながら良し疎通を図っている。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100%			個々に相談・アドバイスを行っている	
	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%				契約時に行っている。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③① 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%				その都度電話や面談等での対応を大切にしている。
	③② 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	50%	50%			保護者間の交流を求める声が多く聞こえたため、コロナ渦の状況を見極めながら今後企画していきたい
	③③ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%				迅速な対応を心掛けている。
	③④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			様々な活動が伝わるようにHPやブログ、おたより等で発信している	
	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	100%				事務室にて管理している。
	③⑥ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	50%	50%			コロナ渦の状況に応じて実施していきたい
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%				マニュアルは整備しており、2カ月に1回訓練を実施している。保護者に内容がわかるようにしていきたい。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			2カ月に1回必ず実施している	
	④① 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%				研修計画に基づき実施する。
	④② どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%				身体拘束は基本的に考えていないが、やむを得ない場合を想定し考える機会を設けたい
	④③ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%				対象児が現在いないが、食物アレルギーに関わらず受診後には保護者と連絡取り合い、できるだけ共有するようにしている
	④④ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	50%	50%		日々の会話の中で報告しあい共有している	文章化することで明確になるので、今後文章化する。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。